SDGs新聞	コーナン商事株式会社
災害時や防災に対するさまざまなアクション	

SDGsラジオを読んでみよう！

地震や台風などの災害に向けて、準備はしていますか？
ホームセンターの「コーナン」でお馴染みのコーナン商事では、複数の市町村に対して、「災害時に支援を行う協定」を結んでいます。
災害により、その地域が被災した際には、ブルーシートや長靴などの作業用品、毛布やティッシュ、トイレットペーパーといった日用品や食品、冷暖房用品などの、災害の復旧や生活に必要な物資を送ったり、コーナンの、店舗の駐車場を避難場所として提供したりなど、さまざまな支援を行っています。
また他にも、地域の防災イベントで、防災グッズを展示したり、防災訓練に参加したりなど、
地域の方々といろいろな活動を行っています。
防災への意識がますます高まっている今、社会では、多くの企業や団体が、災害時に向けての取り組みを進めています。
そしてもちろん、みなさんにもできることがあります。
もしものときに備えて、何ができるのか？ぜひ、話し合ってみてください。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

画像参照：コーナンの店舗外観（コーナン公式HPより）

ホームセンターの「コーナン」を運営しているコーナン商事では、「企業の社会的責任」を果たすための活動の一環として、全国のさまざまな市町村と「災害時における物資の供給に関する協定」を結んでいます。災害発生時には、協定を結んだ地域にブルーシートや長靴などの作業用品、食料品や日用品、災害復旧に必要な物資を送ったり、店舗の駐車場を避難場所として提供するなどの支援を行っています。「被災した人々の生活を一日も早く安定させること」は、災害の発生時にとても大切なことのひとつです。コーナン商事は「物資の供給・避難場所の提供」から、被災地に貢献しています。

画像参照：防災イベント・イメージ画像（コーナン公式HPより）

また、コーナン商事は、地域で開催される防災イベントに積極的に参加しています。地元の消防署や警察署などと連携し、地震や津波、台風、豪雨などの災害を想定した防災訓練を実施したり、長期保存ができる食料品や救急用品・生活用品などの防災グッズの展示を行ったりしています。日頃からの「災害に対する備え」を呼びかけることは、もしもの際にとても大切なことです。地域で暮らす方々の防災意識を高めてもらうために、今後もコーナン商事ではさまざまな活動を行っていく予定です。

キーワード

企業の社会的責任

利益を追求するだけでなく、環境や人権などにも配慮した取り組みを積極的に行い、「社会全体から求められる役割」を果たすことです。

被災

地震や津波、台風や洪水といった「災害」によって、被害や損害を受けることを「被災」と言います。

防災意識

日頃から災害についての備えや、避難場所・避難方法などについて確認し、災害から身を守れるようにする「心構え」のことです。

対象ゴール

みなさんにできること！

災害に備えて、今自分たちには何ができるか、話し合ってみましょう。

おさらい

- 企業には、地域の環境や人権に配慮した行動をとる「社会的責任」が求められている。
- コーナン商事では、被災者に対して救援物資を送るなどの支援を実施している。
- 災害に備えて、「防災意識」を高めていくことはとても大切。

メモ

SDGsラジオ